

# KNC NETWORK NEWS

2017年5月20日号発行

経営一言：一つ一つの舞台を、これが最初で最後と思い、努力を尽くしてきた。

(バレリーナ・紫綬褒章受章 酒井 はなさん)

—所長コメント：一期一会の出会い。今日の出会いは、今日が一生で最後の日。

今日の出会いを大切に、今を一生懸命生きることです。—



(有)北野財経システム

税理士法人 Y. K. C.

大阪市淀川区西中島 7-1-26

オリエンタル新大阪ビル 707号

TEL : 06-6304-7857・FAX : 06-6304-8851

<http://kncc.co.jp>

## 気になる記事：「空飛ぶクルマ」離陸。20年の実用化目標、トヨタが支援

トヨタ自動車が「空飛ぶクルマ」の実用化に向けて、プロジェクトに資金拠出する方針を固めた。米国の新興企業や航空機会社が相次ぎ参入を表明するなど、今最も注目を集める分野だ。個人の移動手段として空飛ぶクルマがにわかに注目を集めるのは、従来の延長線上ではない形で、現在の自動車が抱える問題を解決できると期待されているからだ。

## 要注意、現金での表彰 《税務》

永年勤続者への表彰は旅行や観劇などへの招待や記念品の贈呈が一般的ですが、中には現金で支給している企業もあります。ただ、覚えておきたいのは、一定の線を超えると、現金で支給した場合は原則として税法上「給与」と判断され、当の役員や従業員に所得税が課税されてしまいます。

現金を支給しても会社の福利厚生として損金算入でき、役員や従業員に所得税が課税されないためには、享受する利益の額が、その役員または従業員の勤続期間などに照らし合わせ、「社会通念上相当」と認められることと、さらに表彰がおおむね10年以上勤務した人で、2回以上表彰を受ける人については約5年以上の間隔をおいて行われるものであることです。社員への感謝のきもちとはいえ、大盤振る舞いには注意が必要です。

給与として扱われた支給品は、会社がその物品に対して源泉徴収の義務を負うこととなります。支給を受けた者も、給与所得が増えるため、所得税や住民税を増額して追納しなければなりません。

## 万馬券が大当たり、一時所得に 《税務》

日本中央競馬会がホームページで公表している「払戻金ランキング」を見てみると、思わずため息が出てしまいます。数百万円、数千万円はもちろん、ここ数年でも億の当選金を手にした人が何人もいます。

ここで忘れてはならないのが、競馬で儲けたお金にも税金がかかってくるということです。払戻金から当たり馬券の購入費を差し引いた金額が50万円を超えていれば一時所得の課税対象となり、確定申告をして税金(所得税+住民税)を納付しなければなりません。例えば、1万円の馬券を購入し、100万円の払戻金があった場合は、 $\{(100万-1万)-50万\} \times 1/2 = 24万5000円$ となります。この金額を他の所得と合算して税額を算出します。

高額払い戻し窓口では、住所や氏名が聞かれることはないのですが、税務署が競馬でかけた人を把握できる仕組みはありません。しかし、税務署は個人の銀行口座を調べ、一時金に大金が入っていることを確認し、通知を送ることができます。競馬で巨額の富を手にした人がタンス預金をしているというウワサは本当なのかもしれません。

## 弔慰金と相続税 《税務》

遺族が受け取る弔慰金は通常、相続税の課税対象になりませんが、その額が過大だと相続財産として課税されます。

会社が受け取る弔慰金は、給与の半年分までは非課税です。ただし、業務上の死亡なら、給与の3年分まで相続税が課税されません。この額を計算する際の給与は、給料、賃金、扶養手当、勤務地手当などの合計額をいいます。

それを超えた分は、たとえ会社から弔慰金の名目で受け取っても、実質的に退職金の意味合いがあるものとして課税されます。ただし、退職金のうち「500万円×法定相続人の数」までは非課税です。

退職金のうち、被相続人の死亡後3年以内の支給が確定したものは相続財産とみなされ、相続税の課税対象となります。それ以降に支給が決定した退職金は、受け取った人の一時所得として所得税が課税されます。

## 経営計画の価値 《経営》

仕事上の計画には、日々の売上獲得やアポイント取り、大きくは経営改善計画や事業承継等があります。その難易レベルはまちまちですが、主な共通点としては常に未知と、その成否の不安が伴うことです。

小規模企業等に対して経営計画や予定資金繰り表等の策定を提案すると、良い返事がもらえない場合があります。理由を尋ねると、計画や予定を立てても実現が未知の事柄はムダではないかと言われる。そこで、これまでに正式な経営計画を策定したことがありますかと質問すると、多くは策定したことがないと言います。一般に、人は未知な事柄に不安を抱きますが、実は経営や人生の将来は未知だからこそ、計画や予定等を立てることにより不安が減少するのです。さらに、計画の中に経営ビジョン(事業分野や事業規模等)や経営理念を定めることによって、今は未知の会社の将来像が見えてきます。つまり、計画策定で目標やその実現策を探ることによって、計画に実現はより容易になります。例えば、予定資金繰り表は、月単位・年単位等の現預金収支を予め検証するものです。均衡すれば安心し、不足すれば資金繰りに早く対応できます。企業には多くの計画や予定があり、その実現のためには未知な事柄を恐れずに準備と意気込みが大切です。